

お米の達人

目 標

- ・食物を育てる喜びや達成感を味わい、農業に対する興味関心を広げる。
- ・農業体験を通し、食のありがたさを実感する。
- ・農業に従事する人々の苦労や喜び、仕事にかける情熱に触れ、働くことの素晴らしさについて理解する。

育てたい力

- 農家の人の大変さや苦労を知り、食の大切さを実感し、食料生産を実践できる資質や能力。
- 体験活動を通して、農業に対する見方や考え方を深める能力。

主な学習活動（社会科：8時間、総合的な学習の時間：20時間）

島田農園での 田植え体験 (6月上旬)

・農園にて、米作りの流れについて、映像を交えながら説明していただき、その後、水田に入り、田植えを体験した。泥土に足を取られながらも、真っ直ぐ稲を植えた。手作業で稲を植える大変さと喜びも感じ取った。



お米新聞 づくり (7月)

・社会科の学習と田植え体験を踏まえて、米についてテーマを自分で決めて、本やインターネットなどを使って調べ、新聞にまとめた。

島田農園での 稲刈り体験 (10月上旬)

・自分たちが田植えをした水田で育った稲を刈る体験を行った。体験前に、今年度の生育状況や苦労話を聞き、自然を相手にする厳しさを感じ取りながら、立派に育った稲を大切に刈り取った。その後、カボチャ畑にて、観賞用のカボチャの収穫を手伝った。大量のカボチャを見てとても驚き、意欲的に運んだ。最後に収穫したカボチャをいただき、子どもは働くことに対して、気持ちよさも感じていた。



収穫したお米 で調理実習 (12月上旬)

・参観日に調理実習を行った。親子学習で実施することで、本事業の意義を保護者にも伝えることができた。子どもは、育てた米を大切に調理し、農家の方や自分たちの頑張りを噛みしめながら食べた。

取組を終えて

子どもの声（感想）

「田植えや稲刈りの作業は大変でしたが、楽しかったです。農家の方が大変な思いをしながらもずっと笑っていてすごいと思いました。」「稲刈りは最初は刈りづらくて大変だったけど、だんだんできるようになって楽しかったです。」「僕たちがやったところでも疲れたのに、農家の皆さんはその何倍もやっていますすごいと思いました。」などの感想が寄せられた。

取組の成果

農業体験を通して生産者の苦労を知るのと同時に、熱い思いを感じ取ることができた。「食」に対するものの見方や考え方が深まり、働くことの意義を考えるきっかけになった。

体験先、関係機関

島田農園（恵庭市）